取扱説明書

FlexScan® EV2116W

カラー液晶モニター

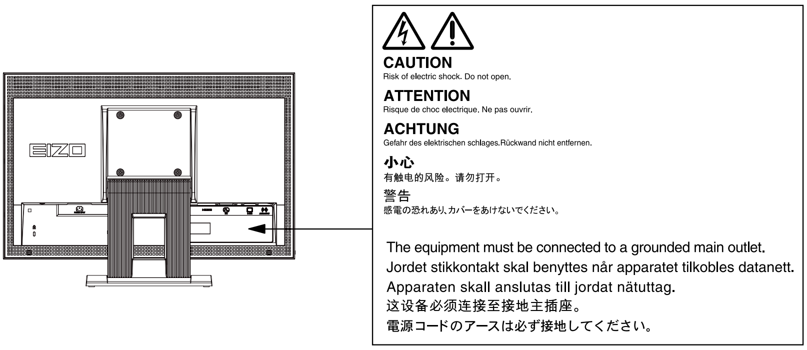
重要

ご使用前には必ず使用上の注意、この取扱説明書およびセットアップガイドをよくお読みになり、正しくお使いください。

- コンピュータなど、外部機器との接続から使いはじめるまでの基本説明についてはセットアップガイドを参照してください。
- 最新の取扱説明書は、当社のWebサイトからダウンロードできます。
  http://www.eizo.co.jp

EIZO®

警告表示位置



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途に適しています。

この製品は、日本国内専用品です。日本国外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other countries.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約30分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて30分以上経過してからおこなってください。

経年使用による輝度変化を抑え、安定した輝度を保つためには、ブライトネスを下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。また、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、販売店またはEIZOサポートにお問い合わせください。

パネル面やパネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットやパネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットやパネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

● パネル面

- 汚れのふき取りにはコットンなどの柔らかい布や、レンズクリーナ紙のようなものをご使用ください。
- 落ちにくい汚れは、少量の水をしめらせた布でやさしくふき取ってください。ふき取り後、もう一度乾いた布でふいていただくと、よりきれいな仕上がりとなります。

● キャビネット

- 柔らかい布を中性洗剤でわずかにしめらせ、汚れをふき取ってください。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1 時間に約 10 分の休憩を取ってください。

目次

表紙 1

モニターについて 3

クリーニングの仕方 4

● パネル面 4

● キャビネット 4

モニターを快適にご使用いただくために 4

目次 5

第1章　はじめに 7

1 - 1.　特長 7

1 - 2.　各部の名称と機能 8

1 - 3.　EIZO LCDユーティリティディスクについて 9

● ディスクの内容と概要 9

● ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）/ EIZO ScreenSlicerを使用するときは 9

1 - 4.　基本操作と機能一覧 9

● 設定メニューの基本操作方法 9

● 機能一覧 11

第2章　画面を調整する 12

2 - 1.　対応解像度/対応フォーマット 12

● アナログ信号（D-Sub）、デジタル信号（DVI-D、HDMI：PC信号）入力時 12

● デジタル信号（HDMI：ビデオ信号）入力時 12

2 - 2.　解像度を設定する 12

● Windows 8 / Windows 7の場合 12

● Windows Vistaの場合 13

● Windows XPの場合 13

● Mac OS Xの場合 13

2 - 3.　カラーを調整する 13

● 表示モード（カラーモード）を選択する 13

● 詳細な調整をする 14

● 各モードの調整項目 14

● ブライトネス（明るさ）を調整する 15

● コントラストを調整する 15

● 色温度を調整する 16

● ガンマを調整する 16

● 色の濃さを調整する 17

● 色合いを調整する 17

● 黒レベルを調整する 18

● ゲインを調整する 18

2 - 4.　画面を調整する 19

● デジタル信号入力の場合 19

● アナログ信号入力の場合 19

2 - 5.　画面サイズを切り替える 23

● 画面サイズを切り替える 23

● 画像の非表示部分の明るさを変える 23

第3章　モニターを設定する 24

3 - 1.　音量を調整する 24

3 - 2.　HDMI信号入力時の音源を切り替える 24

3 - 3.　視聴角度を切り替える 25

3 - 4.　DDC/CI通信の有効/無効を設定する 25

3 - 5.　操作ボタンをロックする 25

3 - 6.　EIZOロゴ表示を設定する 26

3 - 7.　設定メニューの位置を変更する 26

3 - 8.　表示言語を設定する 26

3 - 9.　初期設定に戻す 27

● カラー調整値をリセットする 27

● 「EcoView Sense設定」をリセットする 27

● すべての設定内容をリセットする 27

第4章　省電力機能について 28

4 - 1.　パワーセーブを設定する 28

● モニター 28

● 消費電力をさらに抑える 29

● 音声出力 29

4 - 2.　電源ランプの表示を設定する 30

4 - 3.　モニターの自動明るさ調整を設定する 30

4 - 4.　まぶしさを軽減する 30

4 - 5.　離席時の省電力モードを設定する 31

4 - 6.　省電力の度合いを表示する 32

4 - 7.　モニターの自動電源切断機能を設定する 33

第5章　こんなときは 34

5 - 1.　画面が表示されない場合 34

5 - 2.　画面に関する症状（デジタル、アナログ共通） 35

5 - 3.　画面に関する症状（デジタルのみ） 35

5 - 4.　画面に関する症状（アナログのみ） 36

5 - 5.　その他の症状 37

第6章　ご参考に 38

6 - 1.　オプションアーム取付方法 38

6 - 2.　複数の外部機器を接続する 40

- 入力信号を切り替える 40
- 入力信号の切替方法を設定する 41

6 - 3.　モニター情報を表示する 41

6 - 4.　仕様 42

6 - 5.　用語集 44

付録 47

商標 47

ライセンス 47

VCCI 48

その他規格 48

中国RoHS 49

アフターサービス 50

第 1 章　はじめに

このたびは当社カラー液晶モニターをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。

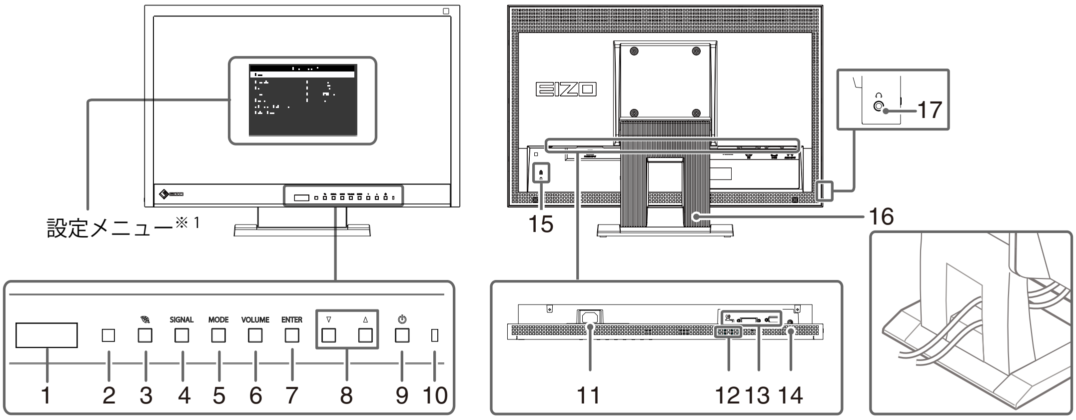
1 - 1. 特長

- 21.5 型ワイド画面
- 解像度 1920 × 1080 対応
- HDMI 端子を搭載
  - HDMI 入力で PC 信号に対応。コンピュータの 3 系統入力が可能になります。
- カラーモード機能を搭載し、表示画像に適した表示モードを選択可能
  - 紙に印刷した際の見え方を再現した Paper モードを搭載しています。
    「表示モード（カラーモード）を選択する」（P.13）参照
- マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェア「ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）」添付
  「1 - 3. EIZO LCD ユーティリティディスクについて」（P.9）参照
  - EyeCare Filter
    半透明の画像をフィルタとしてデスクトップの最前面に表示することで、紙の質感を再現します。
    Paper モードと組み合わせて使用すると、より紙の見え方に近づけることができます。
    「表示モード（カラーモード）を選択する」（P.13）参照
- 電源管理ソフトウェア「EIZO EcoView NET」対応
  詳細は、当社の Web サイト（http://www.eizo.co.jp）を参照してください。
- 省電力機能
  消費電力※を抑えることで、二酸化炭素排出量の削減につながります。この製品は省電力のための機能を搭載しています。
  - パワーセーブ機能
    一定の条件下でモニターが省電力モードに移行すると、消費電力が 0.3 W 以下になります。
    「4 - 1. パワーセーブを設定する」（P.28）参照
  - Auto EcoView 機能
    モニター正面の外光センサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。不必要に高い輝度は、環境にも目にも負荷を与えます。輝度を抑えることにより、消費電力の削減と、目への負担を軽減します。
    「4 - 3. モニターの自動明るさ調整を設定する」（P.30）参照
  - EcoView Optimizer 機能
    周囲の明るさと入力信号の白レベルに応じて、画面の明るさを調整します。Auto EcoView とあわせて使用することで、より快適な明るさになり、まぶしさを軽減できます。
    「4 - 4. まぶしさを軽減する」（P.30）参照
  - EcoView Sense 機能
    モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、モニターは自動的に省電力モードに移行して画面を非表示にするため、消費電力の低減につながります。「マニュアル」を選択すると、モニターの使用環境や使用者の動作量に応じて、検知する範囲、感度、省電力モードに移行するまでの時間を設定できます。
    「4 - 5. 離席時の省電力モードを設定する」（P.31）参照
- Up View 機能
  画面を下から見るような場合に、視聴角度を調整し正面からの見え方に近づけます。
  「3 - 3. 視聴角度を切り替える」（P.25）参照
- 著作権保護技術 HDCP 対応

※ 参考値

最大消費電力 27W（輝度最大、スピーカー動作時、製品初期値）
標準消費電力 11W（輝度 120cd/m^2、スピーカー非動作時、製品初期値）

1 - 2. 各部の名称と機能



1. EcoView Sense センサー	モニター正面の人の動きを検知します。EcoView Sense（エコビューセンス）機能（P.31）
2. 外光センサー	周囲の明るさを検知します。Auto EcoView（オートエコビュー）機能（P.30）、EcoView Optimizer（エコビューオプティマイザー）（P.30）機能
3. ボタン	省電力機能（Auto EcoView（オートエコビュー）（P.30）、EcoView Optimizer（エコビューオプティマイザー）（P.30））、EcoView Sense（エコビューセンス）（P.31））の設定画面を表示します。
4. SIGNAL ボタン	表示する入力信号を切り替えます（P.40）。
5. MODE ボタン	カラーモードを切り替えます（P.13）。
6. VOLUME ボタン	音量設定画面を表示します（P.24）。
7. ENTER ボタン	設定メニューを表示し、各メニューの調整項目を決定したり、調整結果を保存します（P.9）。
8. ▼▲ ボタン	• 設定メニューを使って詳細な調整をする場合に、調整項目を選択したり、調整値を増減します。 • 明るさ（ブライトネス）メニューを表示します（P.15）。
9. ⏻ ボタン	電源のオン / オフを切り替えます。
10. 電源ランプ	モニターの動作状態を表します。 青：　画面表示 橙：　省電力モード 消灯：　電源オフ
11. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
12. スピーカー	音声を再生します。
13. 信号入力コネクタ	左：HDMI コネクタ / 中：DVI-D コネクタ / 右：D-Sub15 ピン（ミニ）コネクタ
14. ステレオミニジャック	ステレオミニジャックケーブルを接続します。
15. 盗難防止用ロック	Kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。
16. スタンド※2	角度が調整できます。上記の図のようにケーブルを収納します。
17. ヘッドホンジャック	ヘッドホンを接続します。

※1 使用方法は、「1 - 4. 基本操作と機能一覧」（P.9）を参照してください。

※2 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります（「6 - 1. オプションアーム取付方法」（P.38）参照）。

1-3. EIZO LCD ユーティリティディスクについて

この製品には「EIZO LCD ユーティリティディスク」（CD-ROM）が付属しています。ディスクの内容やソフトウェアの概要は次のとおりです。

● ディスクの内容と概要

ディスクには、調整用のソフトウェア、取扱説明書が含まれています。各項目の起動方法や参照方法はディスク内の Readmeja.txt を参照してください。

内容	概要	Windows	Macintosh
画面調整パターン集	アナログ信号入力の画面を手動で調整する際に役立つパターン集です。	○	○
ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）	マウスやキーボードを使って画面を調整するソフトウェアです。 HDMI 入力に接続したコンピュータでは動作しません。	○	-
EIZO ScreenSlicer	画面を分割して、複数のウィンドウを効率よく配置するソフトウェアです。	○	-
モニターの取扱説明書（PDF ファイル）		○	○
モニターの保証書（PDF ファイル）	ご自身で印刷し、必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.	○	○
Readmeja.txt ファイル		○	○

● ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）/ EIZO ScreenSlicer を使用するときは

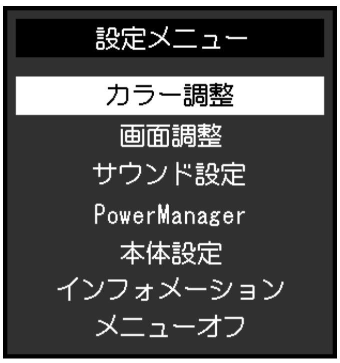
ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）/ EIZO ScreenSlicer のインストール方法、使用方法については、ディスク内のそれぞれの取扱説明書を参照してください。

1-4. 基本操作と機能一覧

● 設定メニューの基本操作方法

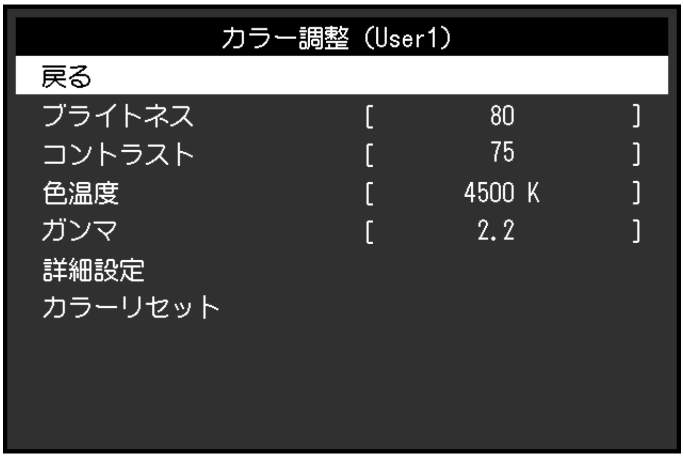
1. 設定メニューの表示

1. ENTER を押し、設定メニューを表示します。



2. 調整 / 設定

1. ▼▲で、調整 / 設定したいメニューを選択し、ENTER を押します。サブメニューが表示されます。



2. ▼▲で、調整 / 設定したい項目を選択し、ENTER を押します。調整 / 設定メニューが表示されます。



3. ▼▲で、調整 / 設定し、ENTER を押して確定します。

3. 終了

1. サブメニューで「戻る」を選択し、ENTER を押します。設定メニューが表示されます。
2. 設定メニューで「メニューオフ」を選択し、ENTER を押します。設定メニューが終了します。

参考

- ENTER をすばやく続けて 2 回押しても設定メニューを終了させることができます。

● 機能一覧

設定メニューの調整および設定項目一覧表です。

メインメニュー	項目		参照先
カラー調整※1	ブライトネス		「2 - 3. カラーを調整する」（P.13）
	コントラスト		
	色温度		
	ガンマ		
	詳細設定	色の濃さ	
		色合い	
		黒レベル	
		ゲイン	
	カラーリセット		「カラー調整値をリセットする」（P.27）
画面調整	画面サイズ		「画面サイズを切り替える」（P.23）
	スムージング		「2 - 4. 画面を調整する」（P.19）
	アナログ調整※2	自動画面調整	
		自動レンジ調整	
		クロック	
		フェーズ	
		水平ポジション	
		垂直ポジション	
	カラースペース※3		「5 - 2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）」（P.35）
			「5 - 3. 画面に関する症状（デジタルのみ）」（P.35）
サウンド設定	音源※3		「3 - 2. HDMI 信号入力時の音源を切り替える」（P.24）
	パワーセーブ		「音声出力」（P.29）
PowerManager	パワーセーブ		「4 - 1. パワーセーブを設定する」（P.28）
	オフタイマー		「4 - 7. モニターの自動電源切断機能を設定する」（P.33）
本体設定	Up View		「3 - 3. 視聴角度を切り替える」（P.25）
	入力信号		「入力信号の切替方法を設定する」（P.41）
	電源ランプ		「4 - 2. 電源ランプの表示を設定する」（P.30）
	言語選択		「3 - 8. 表示言語を設定する」（P.26）
	DDC/CI		「3 - 4. DDC/CI 通信の有効 / 無効を設定する」（P.25）
	ボーダー		「画像の非表示部分の明るさを変える」（P.23）
	メニュー設定	設置方向	「6 - 1. オプションアーム取付方法」（P.38）
		起動ロゴ	「3 - 6. EIZO ロゴ表示を設定する」（P.26）
		メニューポジション	「3 - 7. 設定メニューの位置を変更する」（P.26）
	リセット		「すべての設定内容をリセットする」（P.27）
インフォメーション			「6 - 3. モニター情報を表示する」（P.41）

※1「カラー調整」で調整 / 設定できる機能はモードにより異なります。表は User1、2 モードの場合の項目です。

※2 アナログ信号入力の場合に調整できます。

※3 HDMI 信号入力の場合に設定できます。

第 2 章　画面を調整する

2-1. 対応解像度 / 対応フォーマット

この製品は次の解像度 / フォーマットに対応しています。

● アナログ信号（D-Sub）、デジタル信号（DVI-D、HDMI：PC 信号）入力時

解像度	対応信号	垂直走査周波数	ドットクロック
640 × 480	VGA, CEA-861	60Hz	148.5MHz（Max.）
800 × 600	VESA	60Hz	
1024 × 768	VESA	60Hz	
1280 × 960	VESA	60Hz	
1280 × 1024	VESA	60Hz	
1280 × 720	CEA-861	60Hz	
1680 × 1050	VESA CVT, VESA CVT RB	60Hz	
1920 × 1080 ※	CEA-861	60Hz	

VESA 規格および CEA-861 に準拠したグラフィックスボードが必要です。
※ 推奨解像度です。

● デジタル信号（HDMI：ビデオ信号）入力時

- 映像信号
  - VGA / 525i（480i）/ 525p（480p）/ 1125i（1080i）/ 750p（720p）/ 1125p（1080p）：60Hz
- 音声信号
  - 2ch リニア PCM（32kHz / 44.1kHz / 48kHz）

2-2. 解像度を設定する

モニターをコンピュータに接続したときに適切な解像度で表示されない場合、または解像度を変更したい場合は、次の手順で解像度を変更します。

● Windows 8 / Windows 7 の場合

1. Windows 8 の場合、スタート画面から「デスクトップ」のタイルをクリックして、デスクトップを表示します。
2. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
3. 表示されるメニューから「画面の解像度」をクリックします。
4. 「画面の解像度」ダイアログボックスで、モニターを選択します。
5. 「解像度」をクリックして変更したい解像度を選択します。
6. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
7. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「変更を維持する」ボタンをクリックします。

● Windows Vista の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「個人設定」をクリックします。
3. 「個人設定」ウィンドウで「画面の設定」をクリックします。
4. 「画面の設定」ダイアログボックスで「モニタ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
5. 選択したら、「OK」ボタンをクリックします。
6. 確認のダイアログボックスが表示されるので、「はい」ボタンをクリックします。

● Windows XP の場合

1. デスクトップ上のアイコンがない場所で、マウスの右ボタンをクリックします。
2. 表示されるメニューから「プロパティ」をクリックします。
3. 「画面のプロパティ」ダイアログボックスが表示されるので、「設定」タブをクリックし、「ディスプレイ」の「画面の解像度」で解像度を選択します。
4. 選択したら、「OK」ボタンをクリックして、ダイアログボックスを閉じます。

● Mac OS X の場合

1. アップルメニューの「システム環境設定」をクリックします。
2. 「システム環境設定」ダイアログボックスが表示されるので、「ハードウェア」欄の「ディスプレイ」をクリックします。
3. 表示されたダイアログボックスで「ディスプレイ」タブを選択し、「解像度」の欄から変更したい解像度を選択します。
4. 選択したらすぐに画面が変更されるので、適切な解像度に設定したらウィンドウを閉じます。

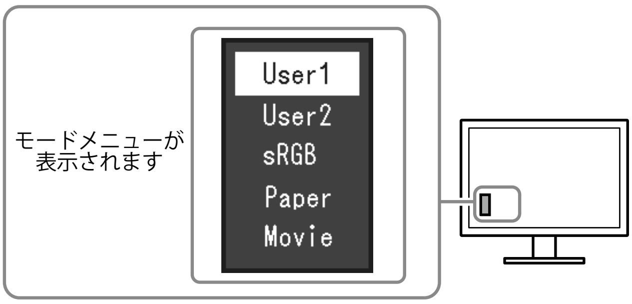
2-3. カラーを調整する

● 表示モード（カラーモード）を選択する

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。

モードの種類

モード	目的
User1	好みに応じた設定をおこなう際に選択します。
User2	
sRGB	sRGB 対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
Paper	コントラストおよび色温度を低くすることで、紙に印刷したような見え方になります。
Movie	動画の再生に適しています。



設定方法

1. MODE を押します。

   モードメニューが画面左下に表示されます。

2. MODE を押すたびにモードが順に切り替わり表示されます。

   モードメニュー表示中は、▼または▲を押してモードを切り替えることもできます。

→ User1 ←→ User2 ←→ sRGB ←→ Paper ←→ Movie ←

参考

- 設定メニューとモード名を同時に表示させることはできません。
- ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）を使うと、使用するソフトウェアに合わせて、カラーモードが自動的に切り替わります（ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）の取扱説明書「第 3 章 オートファインコントラスト」参照）。

● 詳細な調整をする

設定メニューの「カラー調整」で、モードごとに独立したカラー調整の設定、保存ができます。

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。また、この間省電力モードに移行しないよう、EcoView Sense をオフにしておくことをお勧めします（「4 - 5. 離席時の省電力モードを設定する」（P.31）参照）。
- アナログ信号のカラー調整をおこなうときは、最初にレンジ調整をおこなってください（「色階調を自動調整する」（P.22）参照）。
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。

参考

- 「K」表示は調整の目安としてご利用ください。
- ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）を使うと、マウスとキーボードの操作でカラー調整をおこなうことができます。また、調整状態をカラーデータとして保存し、読み込むこともできます（ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）の取扱説明書「第 4 章 カラー調整」参照）。

● 各モードの調整項目

モードの種類により、調整できる機能が異なります。（調整 / 設定できない機能は選択できません。）
各機能の設定方法については、次ページ以降を参照してください。

○：調整可　—：調整不可

機能名		カラーモード				
		User1	User2	sRGB	Paper	Movie
ブライトネス		○	○	○	○	○
コントラスト		○	○	—	—	○
色温度		○	○	—	○	○
ガンマ		○	○	—	—	—
詳細設定	色の濃さ	○	○	—	—	○
	色合い	○	○	—	—	○
	黒レベル	○	○	—	—	○
	ゲイン	○	○	—	—	—
カラーリセット		○	○	○	○	○

● ブライトネス（明るさ）を調整する

バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0 ～ 100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「ブライトネス」を選択し、ENTER を押します。
   「ブライトネス」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 設定メニューが表示されていない状態で、▼または▲ボタンで調整することもできます。
- ブライトネスが 0 でも画面が明るいと感じた場合、または 100 でも暗いと感じた場合はコントラスト調整をおこなってください。

● コントラストを調整する

ビデオ信号のレベルを変化させて、画面の明るさを調整します。

設定範囲

0 ～ 100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「コントラスト」を選択し、ENTER を押します。
   「コントラスト」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 50 ですべての色階調を表示します。
- 画面の明るさは、初めに、階調特性を損なうことのないブライトネスで調整することをお勧めします。
- コントラスト調整は次のような場合に使用してください。
  - ブライトネスが 100 でも画面が暗いと感じたとき。（コントラストを 50 以上に設定します。）
  - ブライトネスが 0 でも画面が明るいと感じたとき。（コントラストを 50 以下に設定します。）

● 色温度を調整する

色温度を調整します。
通常「白」または「黒」の色合いを数値的に表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。
炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。また、色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

設定範囲

オフ、4000K ～ 10000K（500K 単位、9300K 含む）

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「色温度」を選択し、ENTER を押します。
   「色温度」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です（「ゲインを調整する」（P.18）参照）。
- 「オフ」でパネル本来の色（ゲインの値は RGB 各 100）になります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

● ガンマを調整する

ガンマ値を調整します。モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。

設定範囲

1.8、2.0、2.2

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「ガンマ」を選択し、ENTER を押します。
   「ガンマ」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

● 色の濃さを調整する

色の濃さを調整します。

設定範囲

-50 ～ 50

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「色の濃さ」を選択し、ENTER を押します。
   「色の濃さ」が表示されます。
4. ▼または▲で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 最小値（-50）で白黒の画面となります。

● 色合いを調整する

色合いを調整します。

設定範囲

-50 ～ 50

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「色合い」を選択し、ENTER を押します。
   「色合い」が表示されます。
4. ▼または▲で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

● 黒レベルを調整する

映像の黒色の状態を調整します。

設定範囲

0 ～ 100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「黒レベル」を選択し、ENTER を押します。
   「黒レベル」が表示されます。
4. ▼または▲で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 黒レベル調整後は、必要に応じてコントラストを再調整してください。

● ゲインを調整する

色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色調を変更することができます。

設定範囲

0 ～ 100

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「詳細設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「詳細設定」で「ゲイン」を選択し、ENTER を押します。
   「ゲイン」が表示されます。
4. 赤、緑、青それぞれの値を▼または▲で設定します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。

参考

- 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。
- ゲインの値を変更すると、色温度は「オフ」になります。

---

2 - 4. 画面を調整する

● デジタル信号入力の場合

デジタル信号入力の場合は、この製品の設定データに基づいて画面が正しく表示されますが、文字や線がぼやけている場合は、「文字や線のぼやけを直す」（P.22）にお進みください。
さらに詳細な調整をおこなう場合は「2 - 3. カラーを調整する」（P.13）以降を参照してください。

● アナログ信号入力の場合

注意点

- 製品内部の電気部品の動作が安定するのに、約 30 分かかりますので、モニターの調整は電源を入れて 30 分以上経過してからおこなってください。また、この間省電力モードに移行しないよう、EcoView Sense をオフにしておくことをお勧めします（「4 - 5. 離席時の省電力モードを設定する」（P.31）参照）。
- 解像度 800 × 600（SVGA）未満の信号ではセルフアジャスト機能（自動画面調整機能）は働きません。
- セルフアジャスト機能 / 自動画面調整機能は画面の表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。次のような場合には、正しく動作しません。
  - コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合
  - 壁紙など背景を黒で使用している場合

  また、一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。

モニターの画面調整とは、使用するコンピュータに合わせ、画面のちらつきを抑えたり画像の表示位置やサイズを正しく調整するためのものです。

参考

- 次の場合にセルフアジャスト機能が働きます。
  - モニターに初めて信号を入力した場合、または、これまでに表示したことのない解像度や垂直走査周波数、水平走査周波数に変更した場合

セルフアジャスト実行後も、画面が正確に表示されていない場合は、快適に使用していただくために、次の設定手順に従って画面を調整してください。

設定手順

1. 自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
3. 「アナログ調整」で「自動画面調整」を選択し、ENTER を押します。
4. ▼または▲で「はい」を選択し、ENTER を押します。

   自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

「1. 自動調整をします。」(P.19)を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」（P.22）にお進みください。

2. アナログ画面調整用のパターンを準備します。

「EIZO LCD ユーティリティディスク」をコンピュータにセットし、「画面調整パターン集」を開きます。

参考

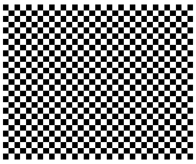
- 「画面調整パターン集」の開き方および内容については、Readmeja.txt ファイルを参照してください。

3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。

● 画面のちらつき、表示位置、サイズを自動調整する

設定方法

1. 「画面調整パターン集」のパターン 1 を画面全体に表示します。



2. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTER を押します。
3. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
4. 「アナログ調整」で「自動画面調整」を選択し、ENTER を押します。
5. ▼または▲で「はい」を選択し、ENTER を押します。

   自動調整機能が働き、画面のちらつき、表示位置、サイズが正しく設定されます。

「3. アナログ画面調整用のパターンを表示して、再度自動調整をします。」(P.20)を実行しても画面が正確に表示されていない場合は次の手順に従って調整をおこなってください。正確に表示された場合は、「5. 色階調を調整します。」(P.22)にお進みください。

4. 設定メニューの「画面調整」で詳細な調整をします。

クロック→フェーズ→ポジションを順に調整します。

● 縦縞を消す

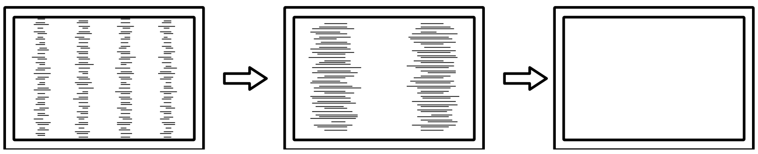
設定方法

1. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「アナログ調整」で「クロック」を選択し、ENTER を押します。

   「クロック」が表示されます。
3. ▼または▲で縦縞が消えるように設定します。

   設定が合ったポイントを見逃しやすいので▼▲をゆっくり押して設定するようにしてください。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

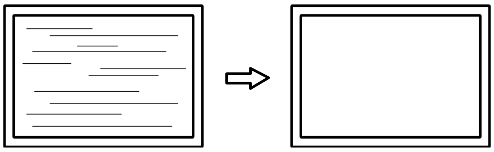
   設定後、画面全体ににじみやちらつき、横線が出た場合は次の「ちらつきやにじみをとる」にすすみ設定をおこなってください。



ちらつきやにじみをとる

設定方法

1. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「アナログ調整」で「フェーズ」を選択し、ENTER を押します。
   「フェーズ」が表示されます。
3. ▼または▲で最もちらつきやにじみのない画面に設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。
   設定後、画面に縦縞が現れた場合は、「縦縞を消す」に戻り、再度設定をおこなってください。
   （クロック→フェーズ→ポジション）



注意点

- お使いのコンピュータやグラフィックスボードによっては、完全になくならないものがあります。

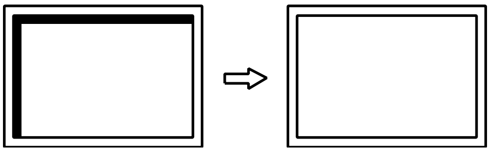
表示位置のずれを直す

参考

- 液晶モニターは画素数および画素位置が固定であるため、画像の正しい表示位置は 1 箇所です。ポジション調整とは画像を正しい位置に移動するための調整です。

設定方法

1. 「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「アナログ調整」で「水平ポジション」または「垂直ポジション」を選択し、ENTER を押します。
   「水平ポジション」または「垂直ポジション」が表示されます。
3. 画像の位置が合うように▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。



5. パターン 1 を閉じます。

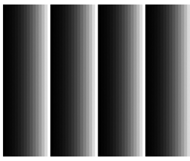
5. 色階調を調整します。

● 色階調を自動調整する

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調（0 ～ 255）を表示できるように調整できます。

設定方法

1.「画面調整パターン集」のパターン 2 を画面全体に表示します。



2. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTER を押します。
3.「画面調整」で「アナログ調整」を選択し、ENTER を押します。
4.「アナログ調整」で「自動レンジ調整」を選択し、ENTER を押します。
5. ▼または▲で「はい」を選択し、ENTER を押します。
   出力レンジが自動的に設定されます。
6. パターン 2 を閉じます。

6. 文字や線のぼやけを直します。

● 文字や線のぼやけを直す

推奨解像度以外の解像度で表示した場合、表示された画像の文字や線がぼやけて見える場合があります。

注意点

- 表示解像度によってはスムージングを設定する必要はありません。（スムージングアイコンを選択することはできません。）

設定範囲

1 ～ 5

設定方法

1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTER を押します。
2.「画面調整」で「スムージング」を選択し、ENTER を押します。
   「スムージング」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

2-5. 画面サイズを切り替える

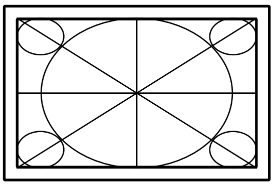
● 画面サイズを切り替える

推奨解像度以外の解像度は、自動的に画面全体に拡大されますが、「画面サイズ」機能を使用して表示サイズを切り替えることができます。

設定	機能
自動	外部機器から送信されてくるアスペクト比情報と解像度情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます。 HDMI（SD 信号）入力時にのみ設定できます。
フルスクリーン	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定ではないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。
拡大	画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。

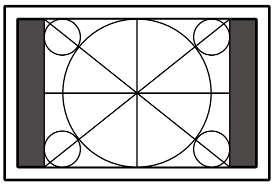
例：1024 × 768 を表示した場合

フルスクリーン



（1920 × 1080）

拡大



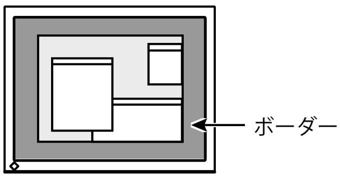
（1440 × 1080）

設定方法

1. 設定メニューの「画面調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「画面調整」で「画面サイズ」を選択し、ENTER を押します。
   「画面サイズ」が表示されます。
3. ▼または▲で「自動」/「フルスクリーン」/「拡大」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

● 画像の非表示部分の明るさを変える

「拡大」モード時には、画像の周囲にボーダー（画像が表示されていない暗い部分）が表示されます。



設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「ボーダー」を選択し、ENTER を押します。
   「ボーダー」が表示されます。
3. ▼または▲で設定します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

第 3 章　モニターを設定する

3 - 1. 音量を調整する

スピーカーやヘッドホンの音量を調整することができます。

設定範囲

0 ～ 30

設定方法

1. VOLUME を押します。
2. ▼または▲で設定します。
3. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- スピーカーとヘッドホンそれぞれの音量を、個別に設定することができます。

3 - 2. HDMI 信号入力時の音源を切り替える

HDMI 信号入力時の音源を切り替えます。HDMI/ ステレオミニジャックが選択できます。

設定方法

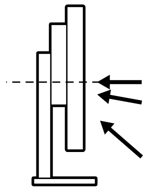
1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「サウンド設定」で「音源」を選択し、ENTER を押します。
   「音源」が表示されます。
3. ▼または▲で「HDMI」または「ステレオミニジャック」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- HDMI 信号入力の場合に変更できます。ただし、DVI-HDMI 変換ケーブルを使用している場合は、「ステレオミニジャック」となり、変更できません。

3 - 3.　視聴角度を切り替える

画面を下から見るような場合に、視聴角度を調整し正面からの見え方に近づけます。



設定範囲

-40˚、-20˚、オフ

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「Up View」を選択し、ENTER を押します。
   「Up View」が表示されます。
3. ▼または▲で「-40˚」/「-20˚」/「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- 次の場合は、設定が「オフ」になります。
  - 設定メニューの「設置方向」を「縦置き」に設定している場合
  - カラーモードで「sRGB」を選択している場合
- 視聴角度によっては、設定を切り替えることによって画面が見えにくくなる場合もあります。

3 - 4.　DDC/CI 通信の有効 / 無効を設定する

DDC/CI 通信の有効 / 無効を切り替えます（「6 - 5. 用語集」（P.44）参照）。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「DDC/CI」を選択し、ENTER を押します。
   「DDC/CI」が表示されます。
3. ▼または▲で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- HDMI 入力は DDC/CI 通信に対応していません。

3 - 5.　操作ボタンをロックする

調整 / 設定した状態を変更できないように、ENTER での調整 / 設定をロックします。

設定方法

1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
2. VOLUME を押しながら ⏻ を押してモニターの電源を入れます。
   操作を実行するたびにロック / ロック解除が切り替わります。

3-6. EIZO ロゴ表示を設定する

この製品の電源を入れたときに、EIZO ロゴが表示されます。このロゴの表示 / 非表示の切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「メニュー設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「メニュー設定」で「起動ロゴ」を選択し、ENTER を押します。
   「起動ロゴ」が表示されます。
4. ▼または▲で「オン」または「オフ」を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-7. 設定メニューの位置を変更する

設定メニューの表示位置を移動できます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「メニュー設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「メニュー設定」で「メニューポジション」を選択し、ENTER を押します。
   「メニューポジション」が表示されます。
4. ▼または▲で位置を選択します。
5. 設定が完了したら ENTER を押します。

3-8. 表示言語を設定する

設定メニューやメッセージの表示言語が選択できます。

選択できる言語

英語 / ドイツ語 / フランス語 / スペイン語 / イタリア語 / スウェーデン語 / 日本語 / 中国語（簡体）/ 中国語（繁体）

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「言語選択」を選択し、ENTER を押します。
   「言語選択」が表示されます。
3. ▼または▲で言語を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

3 - 9. 初期設定に戻す

設定値を初期設定にリセットします。

注意点

• リセット実行後は、リセット前の状態に戻すことはできません。

参考

• 初期値については、「主な初期設定値」（P.43）を参照してください。

● カラー調整値をリセットする

現在選択しているモードのカラー調整値のみを初期設定に戻します。

設定方法

1. 設定メニューの「カラー調整」を選択し、ENTER を押します。
2. 「カラー調整」で「カラーリセット」を選択し、ENTER を押します。
3. ▼または▲で「はい」を選択します。
4. ENTER を押します。
   カラー調整値が初期設定になります。

●「EcoView Sense 設定」をリセットする

「EcoView Sense 設定」の設定内容を初期設定に戻します。

設定方法

1. 🍃を押します。
2. 「EcoView メニュー」で「EcoView Sense 設定」を選択し、ENTER を押します。
3. 「EcoView Sense 設定」で「リセット」を選択し、ENTER を押します。
4. ▼または▲で「はい」を選択します。
5. ENTER を押します。
   「EcoView Sense 設定」の設定内容が初期設定になります。

参考

•「EcoView Sense 設定」は、「EcoView Sense」を「マニュアル」に設定している場合のみ、変更およびリセットできます（「4 - 5. 離席時の省電力モードを設定する」（P.31）参照）。

● すべての設定内容をリセットする

すべての設定内容を初期設定に戻します。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「リセット」を選択し、ENTER を押します。
3. ▼または▲で「はい」を選択します。
4. ENTER を押します。
   すべての設定内容が初期設定になります。

第 4 章　省電力機能について

4-1. パワーセーブを設定する

● モニター

外部機器の状態と連動してモニターを省電力モードにする / しないの切り替えができます。省電力モードに移行すると画面を非表示にします。

注意点

- 電源プラグを抜くことで、確実にモニター本体への電源供給は停止します。
- ステレオミニジャックケーブルが接続されている場合も消費電力は変化します。

参考

- 信号が入力されなくなったことを検出してから、約 15 秒後に省電力モードに移行します。

設定方法

1. 設定メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「パワーセーブ」を選択し、ENTER を押します。
「パワーセーブ」が表示されます。
3. ▼ または ▲ で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

省電力の流れ

アナログ信号入力の場合

「VESA DPM」に準拠しています。

コンピュータの状態		モニターの状態	電源ランプ
オン		オペレーションモード	青
省電力モード	スタンバイ サスペンド オフ	省電力モード	橙
電源オフ		省電力モード	橙

デジタル信号入力の場合

外部機器がコンピュータの場合

「DVI DMPM」に準拠しています。

コンピュータの状態	モニターの状態	電源ランプ
オン	オペレーションモード	青
省電力モード	省電力モード	橙
電源オフ	省電力モード	橙

外部機器がコンピュータ以外の場合

外部機器の状態	モニターの状態	電源ランプ
電源オン	オペレーションモード	青
電源オフ	省電力モード	橙

省電力モードからの復帰方法

モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。

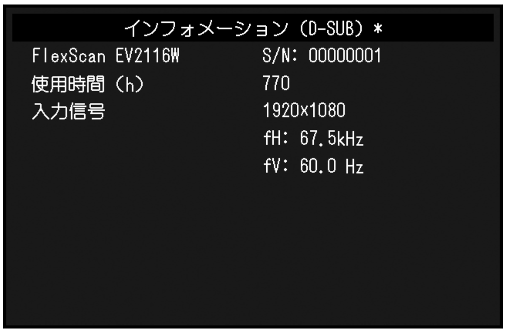
● 消費電力をさらに抑える

次の条件をすべて満たすとき、モニターが省電力モードに移行すると消費電力が 0.3W 以下になります。

- アナログ信号（D-Sub）を表示している
- 「PowerManager」-「オフタイマー」：オフ
- 「本体設定」-「入力信号」：マニュアル
- 「サウンド設定」-「パワーセーブ」：サウンド　オフ
- 使用するコンピュータに EcoView NET がインストールされていない

参考

- 次の手順でこの機能を無効にすることができます。
  1. ⏻ を押して、モニターの電源を切ります。
  2. MODE を押しながら ⏻ を押してモニターの電源を入れます。
     操作を実行するたびにこの機能の有効 / 無効が切り替わります。
     無効にすると、設定メニューの「インフォメーション」のメニュータイトルに「*」が表示されます（「6 - 3. モニター情報を表示する」（P.41）参照）。



● 音声出力

モニターの省電力モード時に、スピーカーまたはヘッドホンから音声を出力する / しないの切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「サウンド設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「サウンド設定」で「パワーセーブ」を選択し、ENTER を押します。
   「パワーセーブ」が表示されます。
3. ▼または▲で「サウンド オン」または「サウンド オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- HDMI 信号入力時、音源が HDMI の場合は、モニターの省電力モード時に音声は出力されません。

4 - 2. 電源ランプの表示を設定する

画面表示時の電源ランプ（青）の点灯 / 消灯の切り替えができます。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「電源ランプ」を選択し、ENTER を押します。
   「電源ランプ」が表示されます。
3. ▼または▲で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

4 - 3. モニターの自動明るさ調整を設定する

Auto EcoView（オートエコビュー）を使用するとモニター下部の外光センサーが周囲の明るさを検知し、明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。

注意点

- Auto EcoView 機能を使用する場合は外光センサーをふさがないように注意してください。

設定方法

1. を押します。
2. 「EcoView メニュー」で「Auto EcoView」を選択し、ENTER を押します。
   「Auto EcoView」が表示されます。
3. ▼または▲で「強」/「標準」/「オフ」のいずれかを選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- Auto EcoView の自動調整の範囲は、設定メニューの「ブライトネス」を調整すると、連動して変更されます。
- 「標準」の設定で画面が明るく感じるときに「強」にしてください。

4 - 4. まぶしさを軽減する

EcoView Optimizer（エコビューオプティマイザー）を使用すると、周囲の明るさと入力信号の白レベルに応じて、画面の明るさを調整します。Auto EcoView とあわせて使用することで、より快適な明るさになり、まぶしさを軽減できます。

設定方法

1. を押します。
2. 「EcoView メニュー」で「EcoView Optimizer」を選択し、ENTER を押します。
   「EcoView Optimizer」が表示されます。
3. ▼または▲で「オン」または「オフ」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

注意点

- EcoView Optimizer 機能を使用する場合は外光センサーをふさがないように注意してください。

参考

- カラーモードで「Movie」を選択している場合、設定が「オフ」になります。

4 - 5. 離席時の省電力モードを設定する

EcoView Sense（エコビューセンス）を「オート」または「マニュアル」に設定すると、モニター正面のセンサーが人の動きを検知します。人がモニターから離れると、モニターは自動的に省電力モードに移行し、画面を非表示にして消費電力を低減します。再度人が近づくと、省電力モードから復帰して画面を表示します。「マニュアル」を選択すると、モニターの使用環境や使用者の動作量に応じて、検知する範囲、感度、省電力モードに移行するまでの時間を設定できます。

参考

- 省電力モードへの移行時には、移行をお知らせするメッセージが表示されます。

注意点

- 設定メニューの向きを「縦置き」に設定すると、EcoView Sense がオフになります（「6 - 1. オプションアーム取付方法」（P.38）参照）。ご使用の際は、「オート」または「マニュアル」に再度設定してください。

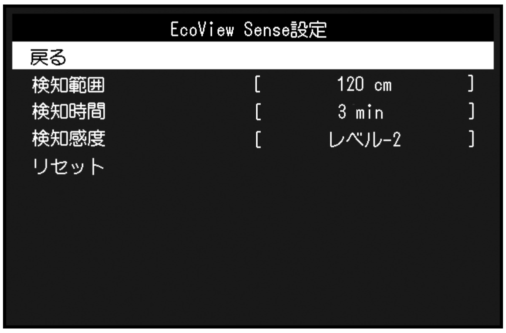
設定方法

1. を押します。



2. 「EcoView メニュー」で「EcoView Sense」を選択し、ENTER を押します。
   「EcoView Sense」が表示されます。
3. ▼または▲で「オート」/「マニュアル」/「オフ」のいずれかを選択します。

4. 設定が完了したら ENTER を押します。
5. 「マニュアル」を選択した場合、「EcoView Sense 設定」を選択して詳細を設定します。



項目	設定範囲	詳細
検知範囲	70cm 90cm 120cm	設定した検知範囲（センサーから垂直方向）から人が離れると、モニターが省電力モードに移行します。設定範囲（左記）は、おおよその値です。
検知時間	5、30sec 1、3、5、10、15、30、45、60min	人がモニターから離れてから、「離席中」というメッセージが表示されるまでの時間を設定します。メッセージが表示されると、約 20 秒後にモニターが省電力モードに移行します。
検知感度	レベル -4	対象物の動きの有無にかかわらず、検知範囲内に人がいたり、静止物があると、省電力モードには移行しません。離席していないにもかかわらず省電力モードに移行することが多い場合、この設定に変更することをお勧めします。
	レベル -3 レベル -2 レベル -1 レベル -0	対象物の動きの有無が判別されるため、検知範囲内に椅子や壁などがあっても省電力モードに移行できます。 設定値を大きくすると（最大で「レベル -3」）、人の小さな動きも敏感に検知し、省電力モードに移行しにくくなります。逆に、設定値を小さくすると（最小で「レベル -0」）、人の大きな動きだけを検知し、より頻繁に省電力モードに移行するようになります。 照明や周囲の光の影響などにより省電力モードに移行しなかったり、意図せず省電力モードから復帰する場合には設定値を小さくしてみてください。
リセット	-	すべての設定内容を初期設定に戻します。

4-6. 省電力の度合いを表示する

EcoView メニューで電力削減量、CO2 削減量、省エネレベルを確認できます。省エネレベルを表すインジケータが多く点灯するにつれ、省電力の度合いが高くなります。



設定方法

1. を押します。
「EcoView メニュー」が表示されます。

4-7. モニターの自動電源切断機能を設定する

モニターの省電力モードが一定時間続いたときに、モニターの電源を自動的に切る / 切らないの切り替えができます。

設定範囲

オフ、0、1、2、3、5、10、15、20、25、30、45min、1、2、3、4、5h

設定方法

1. 設定メニューの「PowerManager」を選択し、ENTER を押します。
2. 「PowerManager」で「オフタイマー」を選択し、ENTER を押します。
3. ▼ または ▲ で「オフ」またはモニターの電源が切れるまでの時間を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

第 5 章　こんなときは

症状に対する処置をおこなっても解消されない場合は、販売店または EIZO サポートにご相談ください。

5 - 1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・ 電源ランプが点灯しない	・ 電源コードは正しく接続されていますか。 ・ ⏻ を押してください。 ・ 電源を切り、数分後にもう一度電源を入れてみてください。
・ 電源ランプが点灯：青色	・ 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「詳細な調整をする」（P.14）参照）。
・ 電源ランプが点灯：橙色	・ 信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・ 外部機器の電源は入っていますか。 ・ SIGNAL で入力信号を切り替えてみてください。 ・ マウス、キーボードを操作してみてください。 ・ 外部機器を HDMI ポートに接続している場合は、認証方法を切り替えてみてください。いったん電源を切り、本体操作ボタンの SIGNAL を 5 秒以上押すと、認証方法が切り替わり電源が入ります。 ・ EcoView Sense を「オート」または「マニュアル」に設定している場合、省電力モードに移行している可能性があります。モニターに近づいてみてください。それでも画面が表示されない場合は、マウス、キーボードを操作してみてください。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されないときに表示されます。
例：  	・ 入力されている信号が仕様範囲外であることを示す表示です。 ・ アナログ信号（D-Sub）/ デジタル信号（DVI-D、HDMI：PC 信号）入力時は、次の対処方法も確認してみてください。 - コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2 - 1. 対応解像度 / 対応フォーマット」（P.12）参照）。 - コンピュータを再起動してみてください。 - グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な表示モードに変更してください。詳細はグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

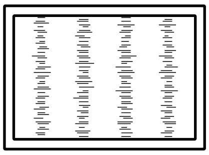
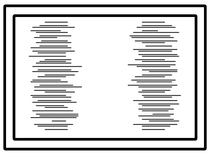
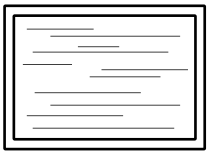
5 - 2. 画面に関する症状（デジタル、アナログ共通）

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	• 設定メニューの「ブライトネス」、「コントラスト」を調整してください。（液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、EIZO サポートにご相談ください。） • 画面が明るすぎる場合は、Auto EcoView（オートエコビュー）および EcoView Optimizer（エコビューオプティマイザー）をオンにしてみてください。周囲の明るさに応じて自動的に画面の明るさを調整します。
2. 文字がぼやけて見える	• コンピュータの設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「2 - 1. 対応解像度 / 対応フォーマット」（P.12）参照）。 • 設定メニューの「スムージング」で調整してみてください（「文字や線のぼやけを直す」（P.22）参照）。
3. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
4. 画面に緑、赤、青、白のドットが残るまたは点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
5. 画面上に干渉縞が見られる / パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
6. 画面にノイズが現れる	• HDCP 方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
7. 画面が白っぽい、黒っぽい	• 設定メニューの「黒レベル」（「黒レベルを調整する」（P.18）参照）、「コントラスト」（「コントラストを調整する」（P.15）参照）、「画面調整」-「カラースペース」（HDMI 入力時）を調整してみてください。

5 - 3. 画面に関する症状（デジタルのみ）

症状	原因と対処方法
1. 画面の色がおかしい（HDMI 入力時）	• 設定メニューの「画面調整」-「カラースペース」で映像信号のカラースペース（色空間）を変更してみてください。
2. 画面が点滅する（HDMI 入力時）	• HDMI ケーブルのカテゴリにより伝送できる信号が異なります。ケーブルが High Speed に対応しているか確認してください。

5-4. 画面に関する症状（アナログのみ）

症状	原因と対処方法
1. 画像がずれている 	• 設定メニューの「ポジション」で画像の位置を合わせてください（「表示位置のずれを直す」（P.21）参照）。 • グラフィックスボードのユーティリティなどに画像の位置を変える機能があれば、その機能を使用して調整してください。
2. 次画面に縦線が出ている / 画面の一部がちらついている  	• 設定メニューの「クロック」で調整してみてください（「縦縞を消す」（P.20）参照）。
3. 画面全体がちらつく、にじむように見える 	• 設定メニューの「フェーズ」で調整してみてください（「ちらつきやにじみをとる」（P.21）参照）。

5-5. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニューが表示できない	• 操作ボタンのロックが機能していないか確認してみてください（「3-5. 操作ボタンをロックする」（P.25）参照）。
2. 設定メニューにおいて、「画面調整」の「スムージング」が選択できない	• 解像度が 1920 × 1080 の場合は、スムージングを選択することができません。
3. 自動調整機能が動作しない	• 自動調整機能はデジタル信号入力時には動作しません。 • この機能は Windows など表示可能エリア全体に画像が表示されている場合に正しく動作します。コマンドプロンプトのような画面の一部にしか画像が表示されていない場合や、壁紙など背景を黒で使用している場合には正しく動作しません。 • 一部のグラフィックスボードで正しく動作しない場合があります。
4. 音声が出ない	• ステレオミニジャックケーブルは正しく接続されていますか。 • 音量が「0」になっていませんか。 • 外部機器および音声を再生しているソフトウェアの設定を確認してください。 • HDMI 入力時は外部機器および設定メニューの「音源」の設定を確認してみてください（「3-2. HDMI 信号入力時の音源を切り替える」（P.24）参照）。
5.（EcoView Sense 使用時）離席しても画面が消えない / モニターに近づいても画面が表示されない	• モニターの設置環境を確認してください。次の環境では正しく動作しないことがあります。 - センサーの正面に、光を反射するもの（鏡やガラス面など）がありませんか。 - 直射日光が当たる場所にモニターを設置していませんか。 - モニターの周辺に赤外線を出す機器がありませんか。 - センサーの前に障害物がありませんか。 • センサーに汚れが付いていませんか。汚れがある場合は、柔らかい布で取り除いてください。 • モニターの正面に座っていますか。センサーから垂直に出た赤外線によって人を検知します。
6. ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）が動作しない	• HDMI 入力に接続したコンピュータでは ScreenManager Pro for LCD（DDC/CI）は動作しません。

第 6 章　ご参考に

6 - 1. オプションアーム取付方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社の Web サイトを参照してください。http://www.eizo.co.jp

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA 規格準拠のものを選択してください。
  - 取付部のねじ穴間隔：100mm × 100mm
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合、取り付けには次のねじをご使用ください。
  - フリーマウント仕様：本機に付属しているねじ（M4×12mm）
  - チルトスタンド仕様：本体部分とスタンドを固定しているねじ
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上 45°　下 45°（横表示時、および時計回り 90°に縦表示時）
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重量があります。落としたりするとけがや故障の原因になります。
- モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社の Web サイトもあわせて参照してください（http://www.eizo.co.jp）。調整メニューの「本体設定」-「メニュー設定」-「設置方向」で、調整メニューの向きを変更することができます。

取付方法

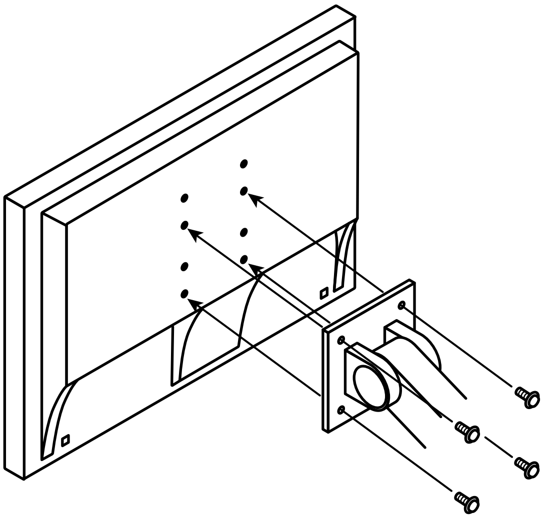
1. **パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷いた上に、パネル面を下に向けて置きます。**

2. **スタンド部分を取り外します。**

別途ドライバを準備ください。ドライバを使って、本体部分とスタンドを固定しているねじ 4 箇所を取り外します。

3. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

アームまたはスタンドの取扱説明書で指定のねじを使って取り付けます。



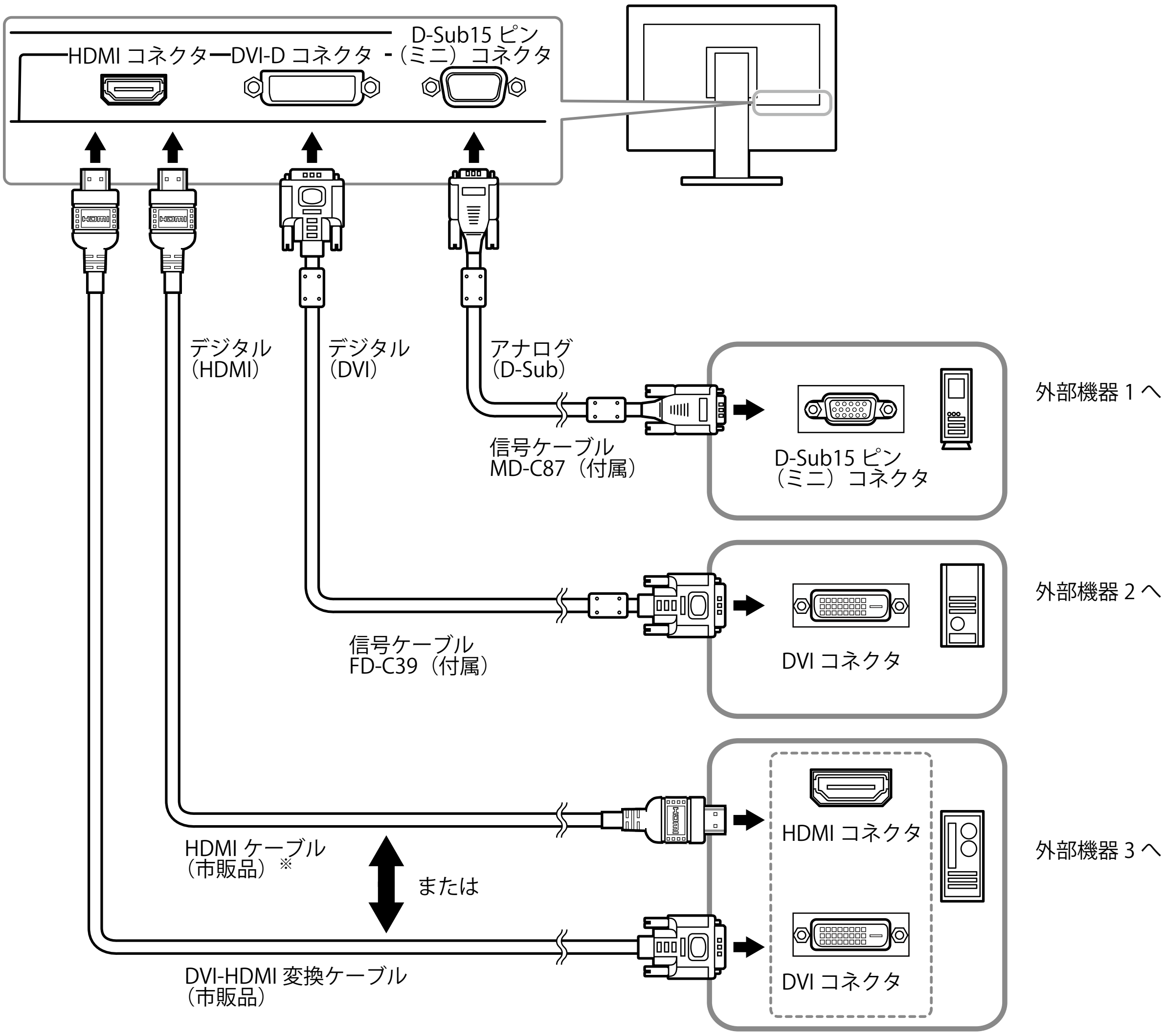
注意点

- ねじ穴は 8 つあります。上部のねじ穴は、モニターに付属のスタンドを取り付けるものです。オプションアーム（またはオプションスタンド）を取り付ける際は、下のねじ穴をご使用ください。

6-2. 複数の外部機器を接続する

この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

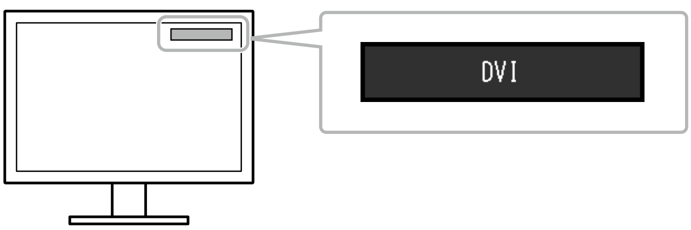
接続例



※ High Speed 対応品をご使用ください。

● 入力信号を切り替える

SIGNAL を押すたびに入力信号が切り替わります。
画面右上に選択された入力ポート名が表示されます。



● 入力信号の切替方法を設定する

設定	機能
オート	信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示します。 外部機器の電源が切れたり、省電力モードに入ると自動的に他の信号を表示します。
マニュアル	表示中の外部機器の信号のみを検知します。操作ボタンの SIGNAL で表示させたい入力信号を選択してください。

設定方法

1. 設定メニューの「本体設定」を選択し、ENTER を押します。
2. 「本体設定」で「入力信号」を選択し、ENTER を押します。
3. ▼または▲で「オート」または「マニュアル」を選択します。
4. 設定が完了したら ENTER を押します。

参考

- 「オート」が選択されている場合は、すべての外部機器が省電力モードに入っている場合のみモニターの省電力機能が動作します。

6-3. モニター情報を表示する

製品名、製造番号、使用時間、解像度、入力信号を表示します。

設定方法

1. 設定メニューの「インフォメーション」を選択し、ENTER を押します。
   「インフォメーション」が表示されます。

注意点

- 工場での検査などのため、購入時に使用時間が「0」ではない場合があります。

6 - 4. 仕様

液晶パネル	サイズ		55cm（21.5）型
	種類		カラー TFT
	表面処理		アンチグレア、ハードコーティング
	視野角		左右 170°、上下 160° （CR ≧ 10）
	ドットピッチ		0.24795mm
	応答速度		黒→白→黒：約 5ms
水平走査周波数	アナログ		31 ～ 68kHz
	デジタル	DVI	31 ～ 68kHz
		HDMI	15 ～ 68kHz
垂直走査周波数	アナログ		55 ～ 61Hz（ノンインターレース）
	デジタル	DVI	59 ～ 61Hz（ノンインターレース）
		HDMI	59 ～ 61Hz
ビデオ信号　対応フォーマット			VGA / 525i（480i）/ 525p（480p）/ 1125i（1080i）/ 750p（720p）/ 1125p（1080p）：60Hz
音声信号　対応フォーマット			2ch リニア PCM（32kHz / 44.1kHz / 48kHz）
解像度			1920 ドット× 1080 ライン
ドットクロック（最大）			148.5MHz
最大表示色			約 1677 万色
表示サイズ（水平×垂直）			476.0mm × 267.7mm
電源			AC100V ± 10%、50 / 60Hz、0.48A
消費電力	画面表示時		27W 以下
	省電力モード時		0.3W 以下 （D-Sub 1 系統入力時、「入力信号」:「マニュアル」設定時、「オフタイマー」:「オフ」設定時、「サウンド設定」-「パワーセーブ」:「サウンド オフ」設定時、ステレオミニジャックケーブル非接続時）
	電源オフ時		0.2W 以下 （ステレオミニジャックケーブル非接続時）
信号入力コネクタ			D-Sub15 ピン（ミニ）
			DVI-D コネクタ（HDCP 対応）
			HDMI TypeA ※
アナログ信号　入力同期信号			セパレート、TTL、正 / 負極性
アナログ信号　入力映像信号			アナログ、正極性（0.7Vp-p / 75 Ω）
デジタル信号（DVI）伝送方式			TMDS（Single Link）
音声出力			スピーカー出力：0.5W（8 Ω、THD+N ≦ 10%） ヘッドホン出力：5mW+5mW（32 Ω、THD+N ≦ 3%）
ライン入力			入力インピーダンス：44k Ω（typ.） 入力レベル：2.0Vrms（最大）
プラグ & プレイ機能			VESA DDC 2B / EDID structure 1.3
寸法（幅）×（高さ）×（奥行き）	本体		508mm × 373.5mm × 157mm
	本体（スタンドなし）		508mm × 325mm × 56mm
質量	本体		約 5.0kg
	本体（スタンドなし）		約 3.7kg
可動範囲			チルト角度：　上 30°下 0°
環境条件	温度		動作温度範囲：　5℃～ 35℃
			輸送および保存温度範囲：　-20℃～ 60℃
	湿度		動作温度範囲：　20% ～ 80% R.H.（非結露状態）
			輸送および保存温度範囲：　10% ～ 90% R.H.（非結露状態）
	気圧		動作温度範囲：　700hPa ～ 1060hPa
			輸送および保存温度範囲：　200hPa ～ 1060hPa

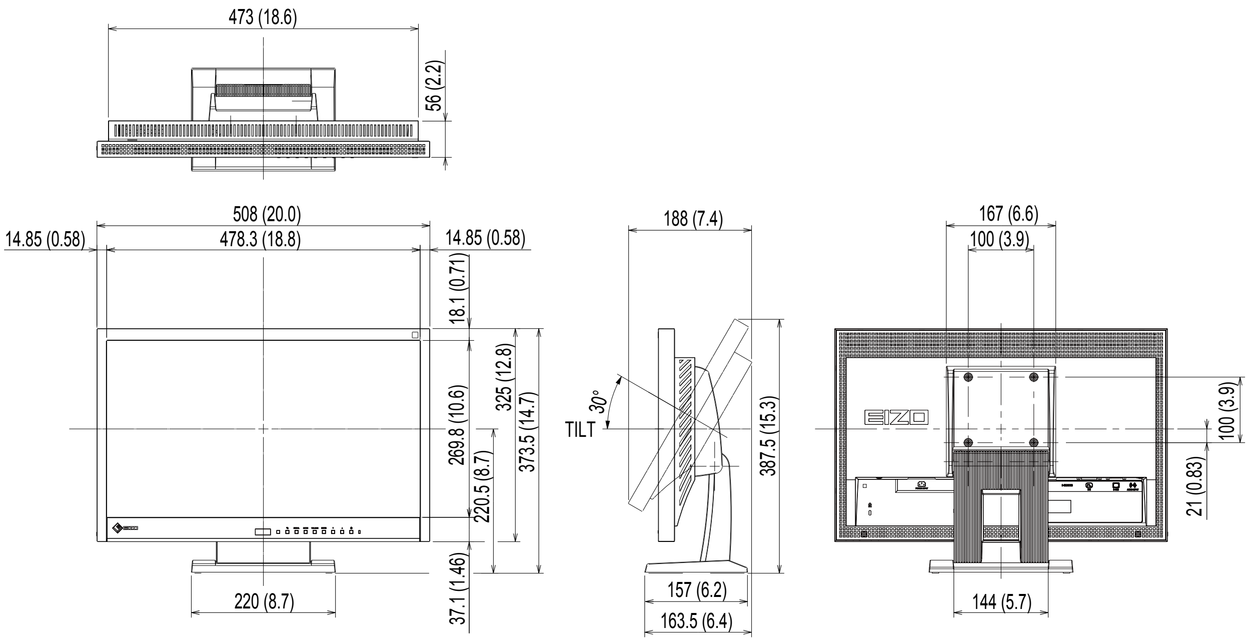
※ HDMI CEC 機能（相互制御機能）には対応していません。

主な初期設定値

Auto EcoView	標準
EcoView Optimizer	オン
EcoView Sense	オート
カラーモード	User1
画面サイズ	D-Sub、DVI-D 入力時：フルスクリーン HDMI（PC 信号 /HD 信号）入力時：フルスクリーン HDMI（SD 信号）入力時：自動
スムージング	3
パワーセーブ	オン
オフタイマー	オフ
言語選択	日本語
メニューポジション	中央
入力信号	マニュアル

外観寸法

単位：mm（インチ）



オプション品

クリーニングキット	EIZO「ScreenCleaner」

オプション品に関する最新情報は、当社の Web サイトを参照してください。

http://www.eizo.co.jp

6 - 5. 用語集

色温度

白色の色合いを数値的に表したものを色温度といい、K：Kelvin（ケルビン）で表します。炎の温度と同様に、画面は温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。
5000K：やや赤みがかった白色
6500K：昼光色と呼ばれる白色
9300K：やや青みがかった白色

解像度

液晶パネルは決められた大きさの画素を敷き詰めて、その画素を光らせて画像を表示させています。この機種の場合は横 1920 個、縦 1080 個の画素がそれぞれ敷き詰められています。このため、1920 × 1080 の解像度であれば、画像は画面全体（1 対 1）に表示されます。

カラースペース

色を規定し、表現するための方法。輝度（Y）と赤の色差（U）、青の色差（V）により表現する YUV、赤（R）、緑（G）、青（B）の 3 色の階調により表現する RGB などがあります。

ガンマ

一般に、モニターは入力信号のレベルに対して非直線的に輝度が変化していきます。これをガンマ特性と呼んでいます。画面はガンマ値が低いとコントラストが弱く、ガンマ値が高いとコントラストが強くなります。

クロック

アナログ信号入力方式のモニターにおいて、アナログ信号をデジタル信号に変換して画像を表示する際に、使用しているグラフィックスボードのドットクロックと同じ周波数のクロックを再生する必要があります。このクロックの値を調整することをクロック調整といい、クロックの値が正常でない場合は画面上に縦縞が現れます。

ゲイン

赤、緑、青それぞれの色の値を調整するものです。液晶モニターではパネルのカラーフィルタに光を通して色を表示しています。赤、緑、青は光の 3 原色であり、画面上に表示されるすべての色は 3 色の組み合わせによって構成されます。3 色のフィルタに通す光の強さ（量）をそれぞれ調整することによって、色調を変化させることができます。

フェーズ

アナログ信号をデジタル信号に変換する際のサンプリングタイミングのことです。このタイミングを調整することをフェーズ調整といいます。クロックを正しく調整した後でフェーズ調整をおこなうことをお勧めします。

レンジ調整

信号の出力レベルを調整し、すべての色階調を表示できるように調整します。カラー調整をおこなう前にはレンジ調整をおこなうことをお勧めします。

DDC/CI（Display Data Channel / Command Interface）

VESA によって標準化された、コンピュータとモニター間で設定情報などを双方向にやりとりするための国際規格です。

DVI（Digital Visual Interface）

デジタルインターフェース規格の一つです。コンピュータ内部のデジタルデータを損失なくダイレクトに伝送できます。
伝送方式に TMDS、コネクタに DVI コネクタを採用しています。デジタル信号入力のみ対応の DVI-D コネクタと、デジタル / アナログ信号入力可能な DVI-I コネクタがあります。

DVI DMPM（DVI Digital Monitor Power Management）

デジタルインターフェースの省電力機能のことです。モニターのパワー状態についてはモニターオン（オペレーションモード）とアクティブオフ（省電力モード）が必須となっています。

HDCP（High-bandwidth Digital Content Protection）

映像や音楽などのデジタルコンテンツの保護を目的に開発された、信号の暗号化方式。
DVI コネクタや HDMI コネクタなどを経由して送信されるデジタルコンテンツを出力側で暗号化し入力側で復号化することによりコンテンツを安全に伝送できます。
出力側と入力側の双方の機器が HDCP 対応していないと、コンテンツを再生できない仕組みになっています。

HDMI（High-Definition Multimedia Interface）

HDMI とは、コンピュータとモニターを接続するときのインターフェース規格の一つである「DVI」をベースにして、家電や AV 機器向けに発展させたデジタルインターフェース規格です。映像や音声、制御信号を圧縮することなく、1 本のケーブルで伝送することができます。

sRGB（Standard RGB）

周辺機器間（モニター、プリンタ、デジタルカメラ、スキャナなど）の「色再現性、色空間」を統一する目的で成立した国際基準のことです。インターネット用の簡易的な色合わせの手段として、インターネットの送り手と受け手の色を近い色で表現できます。

TMDS（Transition Minimized Differential Signaling）

デジタルインターフェースにおける、信号伝送方式の一つです。

VESA DPM（Video Electronics Standards Association - Display Power ManagementSignaling）

VESA では、コンピュータ用モニターの省エネルギー化を実現するため、コンピュータ（グラフィックスボード）側からの信号の標準化をおこなっています。DPM はコンピュータとモニター間の信号の状態について定義しています。

付録

商標

VESAはVideo Electronics Standards Associationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
Windows、Windows Vista、Windows Media、Xbox 360は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、Mac、Macintosh、iMac、eMac、Mac OS、MacBook、PowerBook、ColorSync、QuickTime、iBookはApple Inc.の登録商標です。
Adobe、Adobe AIR、Acrobat、PhotoshopはAdobe Systems Incorporated（アドビ　システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
PowerPCはInternational Business Machines Corporationの登録商標です。
PentiumはIntel Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
AMD Athlon、AMD OpteronはAdvanced Micro Devices, Inc.の商標です。
GRACoL、IDEAllianceはInternational Digital Enterprise Allianceの登録商標です。
ColorVision、ColorVision Spyder2はDataColor Holding AGの米国における登録商標です。
Spyder3はDataColor Holding AGの商標です。
Eye-One、ColorMunki、X-RiteはX-Rite Incorporatedの米国および/またはその他の国における登録商標または商標です。
TouchWareは3M Touch Systems, Inc.の商標です。
NextWindowはNextWindow Ltd.の商標です。
RealPlayerはRealNetworks, Inc.の登録商標です。
NECは日本電気株式会社の登録商標です。PC-9801、PC-9821は日本電気株式会社の商標です。
プレイステーション、PlayStation、PSP、PS3は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの登録商標です。
Japan Color、ジャパンカラーは社団法人日本印刷産業機械工業会および社団法人日本印刷学会の日本登録商標です。
JMPAカラーは社団法人日本雑誌協会の日本登録商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
HDMI、HDMI ロゴ、High-Definition Multimedia InterfaceはHDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiForce、RadiCS、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
C@T-one、FlexViewはEIZO株式会社の日本登録商標です。
ColorNavigator、EIZO EasyPIX、EcoView NET、EIZO ScreenSlicer、i・Sound、Screen Administrator、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
その他の各会社名、各製品名は各社の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、株式会社リコーが制作したビットマップフォント丸ゴシックボールドを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定するオプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。
この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

中国RoHS

关于电子信息产品污染控制标识

本标识根据「电子信息产品污染控制管理办法」，适用于在中华人民共和国销售的电子信息产品。标识中央的数字为环保使用期限的年数。只要您遵守该产品相关的安全及使用注意事项，在自制造日起算的年限内，不会产生对环境污染或人体及财产的影响。上述标识粘贴在机器背面。

• 有毒有害物质或元素的名称及含量

部件名称	有毒有害物质或元素					
	铅（Pb）	汞（Hg）	镉（Cd）	六价铬（Cr（VI））	多溴联苯（PBB）	多溴二苯醚（PBDE）
印刷电路板	×	○	○	○	○	○
机箱	○	○	○	○	○	○
液晶显示器	×	○	○	○	○	○
其他	×	○	○	○	○	○

○：表示该有毒有害物质在该部件所有均质材料中的含量均在 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求以下。
×：表示该有毒有害物质至少在该部件的某一均质材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 规定的限量要求。
（企业可在此处，根据实际情况对上表中打“×”的技术原因进行进一步说明）

アフターサービス

本製品のサポートに関してご不明な場合は、EIZOサポートにお問い合わせください。EIZOサポート一覧は別紙の「お客様ご相談窓口のご案内」に記載してあります。

保証書について

- この製品の保証書は「EIZO LCD ユーティリティディスク」（CD-ROM）に収録されています。ご自身で印刷し、必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。
- 当社では、本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製品の製造終了後、最低 7 年間保有しています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、EIZO サポートにご相談ください。

修理を依頼されるとき

- 保証期間中の場合
  保証書の規定に従い、EIZO サポートにて修理または交換をさせていただきます。お買い求めの販売店、または EIZO サポートにご連絡ください。
- 保証期間を過ぎている場合
  お買い求めの販売店、または EIZO サポートにご相談ください。修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号 /FAX 番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号
  （製造番号は、本体の背面部のラベル上に表示されている 8 桁の番号です。
  例）S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード /OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）

修理について

- 修理の際に当社の品質基準に達した再生部品を使用することがありますのであらかじめご了承ください。

製品回収、リサイクルシステムについて

- パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様が本製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。
- なお、詳細な情報については、当社の Web サイトもあわせて参照してください。
（http://www.eizo.co.jp）

● 法人のお客様

本製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で業界団体「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。
（http://www.eizo.co.jp）

● 個人のお客様

PCリサイクルマークの無償提供について

本製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、本製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、次のWebサイトからお申し込みください。
マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

情報機器リサイクルセンター
Webサイト：http://www.pc-eco.jp
※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。
（回収担当窓口は、情報機器リサイクルセンターにて対応いたします。）

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

PCリサイクルマークについて

個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を情報機器リサイクルセンターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

お問い合わせ

本件に関するお問い合わせは、情報機器リサイクルセンターまでお願いいたします。

情報機器リサイクルセンター

電話：0120-345-989
月曜日～金曜日（祝日及び年末年始を除く）9：00～17:00

第 5 版　2013 年 9 月

03V23794E1
(U.M-EV2116W)